



日本一低い谷中 中央分水界のあるまち

生 いくさと 郷

第41号 令和3年2月18日

発行 生郷自治振興会

編集 魅力づくり委員会

URL <https://ikusato-js.com/shinko/>

TEL/FAX (0795)82-2666



梅のさわやかな香りが漂う季節となりました。日ごろは生郷自治振興会の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。1月半ばに二度目の緊急事態宣言が発令され、皆様におかれましては大変な日々をお過ごしのこととお察し申し上げます。それに伴い生郷交流会館でも使用時間が夜8時までには制限され、各方面にご不便をおかけしています。振興会としましては、三蜜を避け消毒やマスクはもちろんのこと、会議を時短にしたり書面に替えたりと感染拡大防止のために対策を取りながら進めています。本当に少しでも早くこのコロナ禍が収束しますよう、心から祈るばかりです。



生郷自治振興会
副会長 荻野 浄美



1年を振り返って



さて「共に楽しく幸せを感じる地域づくり」を基本理念として始まった今年度ですが、直後に一度目の新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令され、3月から休校になっていた学校は引き続き休みとなりました。そして4月末の総会も初めての書面総会となり、対面で意見を交わすことなく進めることの難しさを感じました。また楽しみにしていた5月のタンバッカス、7月の水分れ祭、8月の各自治体の夏祭や生郷音楽祭、そして9月の生郷地区市民運動会など、緊急事態宣言が解かれた後も不特定多数の人が集まる大きな行事は、感染防止の観点から、残念ながら中止にせざるを得ませんでした。

そんな中、心に残った取り組みが二つあります。一つは「丹波医療センターの環境整備」、もう一つは「生郷まちの灯りフェスティバル」です。「環境整備」では、地域医療を支える取り組みとして、また新型コロナの対応に当たる医療従事者に感謝の気持ちを示すため、生郷地域のみならず柏原や新井の自治協議会や一般ボランティア、そして病院職員や看護学生まで、その趣旨に賛同した多くの人々が早朝から作業に取り組みました。真夏の日差しの中、決められた持ち場を効率よく作業した結果、雑草が伸び放題だった敷地がすっかり綺麗になり、大変でしたが清々しい気持ちになれました。またスポーツクラブ21 氷上東の呼びかけで行われた「灯りフェス」では、前もって参加者が手作りした段ボールハウスが東小の運動場に並べられ、その前で6年生の鼓笛隊が演奏を披露。グルッと周りをマーチングして盛り上げてくれました。そして夕闇がせまる中、段ボールハウスに灯りがともされ赤や青の光で辺りは幻想的な風景に!! その場を訪れた人々の心をほんのり温めてくれる、素敵なイベントでした。



丹波医療センターの環境整備

それ以外にも、春に地域おこし協力隊の清水さん（広報たんば1月号に掲載）が、いそべ神社横にコーヒー専門店「水分れ茶屋」をオープンされました。10月からは毎月第1日曜に地元産や無添加にこだわったお店が並び

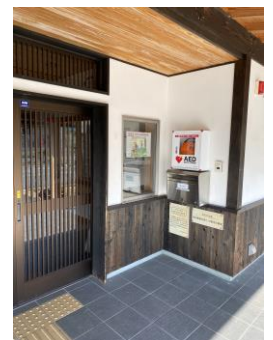


生郷まちの灯りフェスティバル

「水分れマルシェ」がその周辺で開催され、若い人やファミリー中心にたいへんな賑わいとなっています。また2019年から活動を始めた「生郷里山づくり懇話会」では、現在千代田池奥の遊歩道を整備中で、その後は東小駐車場の裏山や水分れ公園奥の里山整備など精力的に取り組んでいく予定です。昨年12月には交流会館の玄関横にAEDを設置しました。地域の安心安全のため、少しでもお役に立てれば幸いです。



里山整備の様子



AED

コロナ禍で先の見通しが立たない状況ではありますが、生郷地域全体が声を掛け合い、協力しながら何とか乗り切っていけたら…と思います。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

スポーツクラブ紹介

今回は、コロナ禍でもスポーツで元気に頑張っている子ども達が所属しているクラブをご紹介します。

FCリベルテ氷上

平素はFCリベルテ氷上の活動に対し、ご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

当クラブは今年で発足32年を迎え、小学1年生から6年生までの部員は生郷地区に留まらず柏原町、春日町からの参加者を加え現在42名で活動をしています。昨年からのコロナ禍により大会や活動は減少しましたが、その中でも高学年丹波市大会で準優勝、5年生丹波大会で3位、低学年はフットサル大会に於いて県大会に出場するなど輝かしい成績を収めています。練習では個人技だけではなく、チームプレーの楽しさや素晴らしさを目一杯味わいながらボールを蹴っています。男女は関係ありません。ぜひ一緒にサッカーを楽しみましょう。

水曜日の午後4時～6時と、土曜日の午前9時～12時、東小学校グラウンドで練習を行っています。



氷上錬成会

氷上錬成会は現在男子3人、女子4人で活動している剣道教室です。『なにくそ魂』をモットーに打たれても もう一度！悔しくて もう一度！負けや失敗から多くの事を学び諦めることなく次こそは!!という気持ちで稽古に励んでいます。

また『剣友』を会旗に掲げています。剣道を通して友達を作る事を念頭に置き稽古に取り組んでいる歴史のある会です。

毎週金曜日午後6時～8時、東小学校体育館で年長～小学生を対象に活動しています。高学年からのスタートでも大丈夫です。いつでも見学に来てください。



東レッドソックス

東レッドソックスは、丹波市東小学校区の生徒で構成され、2年生から6年生の総勢18名で毎週土曜日(半日)、日曜日(1日)、火曜日(ナイター)で練習に励んでいます。

その子供達が大好きな野球を通して、勝った時の嬉しさを感じ、負けた時の悔しさを知り、ランドセルを降ろし、同じユニフォームに着替え、同じ目標に向かって努力することで、健全な心身の育成をしていくことをモットーに活動しています。多くの方々に支えられ野球が出来ているという事に感謝する事。バッグをきちんと並べるなど、野球道具を大切に扱うという教え。学年や立場を超えて仲間を思いやり、励まし助け合い、時にはぶつかり合う事もありますが、それも一緒に汗を流し合う仲間であればこそ、乗り越えられ、色んな事を経験し、大切な何かを知り、明るくたくましく元気で健康に育っていただければと思っています。



氷上東ミニバスケットボール教室

氷上東ミニバスケットボール教室です。私たちは、6年生4人、4年生3人、3年生1人、2年生2人、1年生1人の11人で活動しています。少人数ですが、学年を超えて和気あいあいと練習しています。

ミニバスケットを始めてよかった点は、学年を超えて仲良くできる仲間ができた点と、体力がつきマラソン大会などでの記録が伸びるなどたくさんあります。

体験イベントなども定期的に行っております。どなたでも見学していただけますので、ぜひ一度体育館にお越しください。

誰でも初心者からのスタートです。部員一同、みなさまの入部を心よりお待ちしております。



SDGs（エスディーゼズ）について

皆さん『SDGs』って聞いたことがありますか。SDGs とは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。その中で2016年から2030年までの15年の間に世界中で取り組むべき17の課題と169のターゲットを定めています。

その17の課題とは、

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナースhipで目標を達成しよう

です。難しいですね。

いまSDGsについて教えている小学校が多いようですが、一般社団法人子供教育創造機構の小学生向けの説明を見ても、理解するには時間が掛かりそうです。



小学生のためのSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



一般社団法人イマココラボはホームページで、『日本でもSDGsという言葉をよく聞くようになり、先進的な企業や自治体は、自社、自地域は目標4と8に力を入れている、というような表現を使うことがよくあります。それは素晴らしいことなのですが、SDGsの本質は17の目標は相互に関連しており、それを包括的解決することが本当の意味で解決に向かうとも言われています。（中略）

さらに、そのつながりの中に、途上国で作られた製品を消費する消費者の一人として、私たち自身もつながっていて、私たち自身の小さな選択がSDGs達成に影響しているということに自覚することが重要で



イマココラボ

す。』と述べています。

私たちはこの17の課題のうち、少なくともひとつに関わることができれば、十分に『SDGs』に貢献したと言っても良いのではないのでしょうか。

そして可能な限りそれを持続していくことが肝心だと考えます。

ホームページを随時更新しています

生郷地域に関する最新情報や地域の魅力を発信しています。広報誌のバックナンバーや季節ごとに変化する絶景もアップしています。是非、一度ご覧ください。

スマホでは下記の①～③、パソコンでは①と②の方法でご覧いただけます。

- ① ブラウザのアドレス欄にURLを直接入力する。
<https://ikusato-js.com/shinko/>
- ② Google や Yahoo などの検索バーに「生郷自治振興会」と入力し、出てきたサイトの中から「日本一低い谷中中央分水界のあるまち」と表示されているサイトを選ぶ。
- ③ QRコードリーダーで右下のQRコードを読み込む。

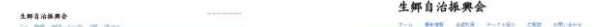


ウェブサイトについて

当サイトでは、生郷地域に関する最新情報や地域の魅力を発信しています。



トップページ



会館利用

会館利用

区分	利用料	予約料	その他
大会場	10,000円	5,000円	10,000円
中大会場	5,000円	2,500円	5,000円
小大会場	2,500円	1,250円	2,500円
多目的室	1,250円	625円	1,250円
会議室	625円	312円	625円
研修室	312円	156円	312円
貸出料	1,250円	625円	1,250円
清掃料	1,250円	625円	1,250円
駐車場	1,250円	625円	1,250円
その他	1,250円	625円	1,250円

会館利用

会館利用

会館利用

会館利用

会館利用

会館利用

会館利用

会館利用

会館利用

会館利用

会館利用

会館利用

会館利用

会館利用

会館利用

会館利用

会館利用

会館利用

会館利用

会館利用

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

広報誌

会館利用のページ



生郷自治振興会ホームページ

指定管理者制度の期限が満了します

「民にできることは民で」。

指定管理者制度とは、当時の小泉内閣の骨太改革路線の一環として、自治体の財政難と経営効率化の観点から平成15年に施行された制度です。

生郷自治振興会は丹波市の指定を受け、平成23年4月1日より生郷交流会館の指定管理者として、管理・運営をして参りましたが、令和3年3月31日をもってその期限が満了します。

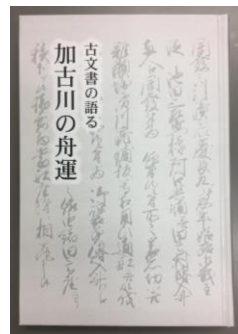
令和3年4月1日より、丹波市から本施設の無償譲渡を受け、「民」として管理・運営をして参りますので、地域住民の皆様のご指導、ご鞭撻並びにご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。

図書を寄贈して頂きました

令和2年12月28日に、この本の著者である本郷の上島成和様より、『古文書の語る加古川の舟運』という本を3冊寄贈して頂きました。

先日、丹波新聞でも紹介されましたが、この本は文禄3年瀧野川の開発から、大正2年播州鉄道の開業による加古川の舟運の終焉までの歴史を、上島様が4年余りをかけて古文書を収集・解読され、まとめられたものです。

生郷交流会館に置いておりますので、興味がある方は事務局までお問い合わせください。☎0795-82-2666 平日 9:00～17:00



《ヨコのカギ》

- 1 満月を過ぎ、左側が輝いて見える月を〇〇〇の月という。
- 3 兵庫県の南東部に接し、2025年に万国博覧会が開かれる都市。
- 6 インド、西アジア、中央アジアなどの平焼きパン。
- 7 粘り強く手強いこと。
- 8 物を食べたり、話したりする器官。
- 9 積極的。肯定的。対義語はネガティブ。
- 12 家系の初代以後、一家の現存者以前の代々の人々。
- 13 物の各部分の長さ。
- 14 足を覆うように作った履物の総称。
- 16 兵庫県丹波市氷上町周辺の加古川と由良川をつなぐ低地帯。
- 19 偶蹄目の哺乳類の一種で、角は雄だけにある。ジビエの一種でもある。
- 20 同じ宗教の中での分派。宗旨の流派。
- 21 形がゆがんで正常でないさま。

《タテのカギ》

- 1 日本語独特の音節文字。
- 2 複写・再発行する前のもとの書物や書類。
- 3 事務所。
- 4 木などを間隔を置いて立て、それに横木を渡して作った囲い。
- 5 天地自然の美しい景色。風流な遊び。
- 7 戦闘の際、敵の矢などによる攻撃から身を守るための武器。
- 10 SDGsとは『〇〇〇〇〇な開発目標』。
- 11 雨水の流れる方向を分かつ境界。
- 12 競争すること。市場でも見ることができます。
- 15 法律などに反する行為。
- 17 歌謡曲などの歌の文句。
- 18 バラ科の落葉高木。実は長十郎や二十世紀などの種類があります。

1	2		3		4	5
6			7		8	
	9	10			11	
12			13			
		14	15			
	16			17		
18				19		
20					21	

ハガキに①クロスワードの答え②住所③氏名④年齢⑤印象に残った記事⑥ご意見・ご感想・ご要望などをご記入のうえ、下記までお送りください。

抽選で10名の方に1,000円分のたんば共通商品券をお送り致します。

〒669-3464 丹波市氷上町石生 700-1 生郷自治振興会『広報誌いくさとクイズ係』

E-mailでもご応募頂けます。ハガキと同様に①～⑥をご記入のうえ、下記アドレスまでお送りください。件名に『広報誌いくさとクイズ係』とご記入ください。右のQRコードからもE-mailを読み込めます。

ikusato.js@zeus.eonet.ne.jp



黄色の枠の文字を並べ替えてできた言葉が答えです。

ヒント：一面にひろがります

締切は3月25日(木)です。当選者の発表は賞品の発送をもって替えさせていただきます。



前回の正解は『シチゴサン』でした。応募総数23通、正解23通の中から抽選で10名の方に1,000円分のたんば共通商品券をお送り致しました。

今回の正解はホームページで3月29日(月)に発表致します。



ア		ス	テ	ジ	ヨ		ク
イ	シ	ガ	レ	イ		ミ	チ
デ	モ		ワ		シ	ユ	ビ
ア	フ	タ	ー	ス	ク	ー	ル
		サ	ー	ク	ル		ジ
ワ		ン		ガ	イ	ア	ツ
シ	オ	フ		ケ	ム	リ	
	ダ	イ	ナ	ゴ	ン		ー

【編集後記】本年度の広報誌は本号をもって終了です。1年間ご愛読いただき、本当にありがとうございました。本年度はコロナ渦で水切れまつりや生郷ふるさと音楽祭などの事業を断腸の思いで中止しなければなりません。来年度もなかなか安心できるような状況にはならないかもしれませんが、生郷地域の魅力や小さな出来事などを発信していきたいと思っています。今後ともご指導、ご鞭撻をどうぞよろしくお願い致します。 魅力づくり委員会一同